

旧五戸高建物 無償譲渡へ



多目的グラウンドを整備する旧五戸高野球場。中央奥が旧五戸高校舎=24日、五戸町

ひばり野西高開校で町

多目的グラウンドも整備

五戸町の旧青森県立五戸高跡地に2027年4月開校予定の八戸学院ひばり野西高について、町は24日、開校に向けた支援内容を明らかにした。運営する学校法人光星学院（八戸市）に敷地内の全ての建物を無償譲渡するほか、旧野球場を人工芝の多目的グラウンドとして整備する。

同日開かれた町議会全員協議会で説明した。

旧五戸高の土地建物については、町が25年1月に県から譲渡を受け、同4月1日から町が同学院に無償で貸し付けている。しかし、校舎の改修などで補助金を受けするためには、同学院が建物所有者である必要があることから、学院側から今年1月に建物の無償譲渡に関する要望書が提出されたという。

このため、町は2月5日に開会する町議会定例会に同学院への譲渡に関する議案を提出する予定。可決後、協議が完了し次第契約を取り交わす見通しだ。

また、同学院は現在、校舎や生徒会館の改修、学生寮の新設を進めているが、町は地域総合整備貸し付け「ふるさと融資」を適用し、事業費の60%に対して無利子で貸し付ける方針。

多目的グラウンドは、校門向かい側の旧野球場に整

備。1万6千平方メートルの広さで、人工芝のほか、照明や防球ネットなどを設け、部活動をはじめとするスポーツ活動や、校内外の交流行事の拠点としての活用を想定し、開校時の完成を目指す。工事費は3億7730万円、26年度一般会計予算案に盛り込む。

（田村純也）